

The Japan Institute of Architects

2024

「建築の未来」

JIA 建築家大会 2024 別府

11/28 thu・29 fri・30 sat

## メインシンポジウム (シンポジウム6 建築の未来Ⅲ)

一般参加可

日時 2024年11月29日(金) 14:00~17:00

会場 別府国際コンベンションセンター (ピーコンプラザ) コンベンションホール

メインシンポジウムは、重松象平氏(建築家/OMAパートナーおよびニューヨーク事務所代表/九州大学大学院人間環境学研究院教授)による「Open-ended Architecture」と題した基調講演と、末廣香織氏(九州大学教授)をモデレーターに迎えて重松象平氏、末光弘和氏(九州大学院准教授)、石山友美氏(秋田公立美術大学准教授)のパネリストが登場し、「建築の未来」についてのクロストークを展開します。

### 基調講演

#### ●テーマ

## Open-ended Architecture

#### ●講演者 (クロストークパネリスト)

#### 重松象平 Shigematsu Shohei

建築家/OMAパートナーおよびニューヨーク事務所代表/九州大学大学院人間環境学研究院教授

#### 【PROFILE】

1973年福岡県生まれ。九州大学工学部建築学科卒業後、1998年よりOMAに所属し、2008年パートナー就任。ハーバート大学GSD、コロンビア大学GSAPPなどで客員教授を歴任。

#### 【主な作品】

Photos: Jason O\_Rear



オードリー・イルマス・パヴィリオン

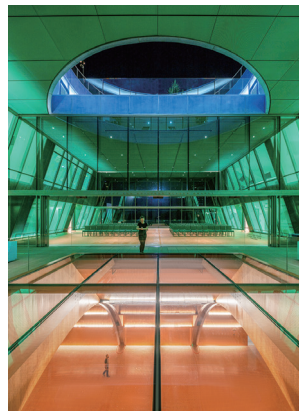


Photo: Julian Cassady



天神ビジネスセンター

Photo: Tomoyuki Kusunose



Photo: Jason O\_Rear

バッファロー AKG美術館

### クロストーク

#### (モデレーター)

#### 末廣香織 Suehiro Kaoru

建築家/九州大学大学院教授/ NKS2アーキテクト共同主宰



#### 【PROFILE】

1986年九州大学大学院修士課程修了。1994年ベルラーヘ・インスティテュート建築学大学院修了。1993年ヘルマン・ヘルツベルハー建築設計事務所。1994-98年九州大学工学部建築学科助手。1998年・NKSアーキテクト共同主宰。2005年・九州大学大学院准教授。2022年・九州大学大学院教授。

Photo: Masatomo MORIYAMA

#### (パネリスト)

#### 末光弘和 Suemitsu Hirokazu

建築家/九州大学大学院准教授/ SUEP. 主宰



#### 【PROFILE】

1976年愛媛県生まれ。1999年東京大学卒業。2001年同大学大学院修了。2001-06年伊東豊雄建築設計事務所。2007年よりSUEP. 主宰。2009-11年横浜国立大学Y-GSA 設計助手。2020年より九州大学大学院准教授。



#### (パネリスト)

#### 石山友美 Ishiyama Tomomi

映画監督/ 秋田公立美術大学准教授

#### 【PROFILE】

1979年生まれ。日本女子大学家政学部住居学科卒業。磯崎新アトリエ勤務を経て、渡米。カリフォルニア大学バークレー校大学院、ニューヨーク市立大学大学院で建築、芸術論、社会理論を学ぶ。ニューヨーク市立大学大学院都市デザイン学研究所修士課程修了。

### (座談会)

## JIA 建築家大会 2024 別府に向けて

日時: 2024年8月30日(金)

場所: JIA九州事務局

参加者: ●佐々木寿久 (JIA九州支部長 (アトレ建築空間))  
●松山将勝 (JIA別府大会/大会委員長 (松山建築設計室))  
●川津悠嗣 (JIA別府大会/実行委員長 (かわつひろし建築工房))  
聞き手: ●有吉兼次 (JIA別府大会/実行委員広報担当 (ズーク))

(敬称略)

### 開催地決定の経緯

——14年ぶりに九州で開催する建築家大会ですが、支部内の建築家からどのような期待や反響が寄せられていますか。また、支部長として、この大会にどのような想いを抱いていますか。

佐々木 ●14年前に北九州市で建築家大会が開催されましたが、その時と比較しても建築を取り巻く環境は大きく変わっています。真剣な議論の場として、今回九州にて建築家大会が開催されることを誇りに思います。建築家大会は全国10支部に順番でまわってくるので、沖縄大会、東海(常滑)大会のタイミングを考慮し、2024年の開催地に手を挙げさせていただきました。通常は開催地の地域会の負担が大きくなりますが、今回は九州支部全体で実行委員会を立ち上げて、九州支部全体で進めている意識が高いですね。九州人の気質だと思いますが、ウェルカムでもてなして盛り上げようとする方が、九州支部の各地域会にいらっしゃって、その方々が大きな力になっている気がします。



——九州支部での大会を大分県別府市で開催することにした経緯をお話いただけますか。

松山 ●建築家大会をどこで開催するかは大会の成果にも直結する重要な決断になります。加えて地域会の規模も大小ありますので、コンセンサスも含めて決定には時間がかかりました。近年の建築家大会を振り返ると、弘前市や常滑市といった地域色豊かな場所に初めて訪れて、その地の文化に触れる時間はとても新鮮で貴重な経験でしたので、九州でもそんなポテンシャルを持った地で開催したいという想いはありました。



そして九州での開催を議論していた時期に、世界的建築家である磯崎新さんがご逝去されたことは九州建築界にとっても悲しい出来事でした。大分県出身の磯崎さんは、私たち九州人にとって最も誇れる先輩です。建築界に偉大な功績を残された磯崎さんに哀悼の意を表し、全国のJIA会員が磯崎建築を巡る機会にもなればという想いもあり、ピーコンプラザが所在する大分県別府市が最も力に挙がりました。

別府市は世界有数の温泉地としては知られていますが、国際



会場のピーコンプラザと別府市内

観光温泉文化都市や国際会議観光都市として、かつての賑わいを取り戻そうと官民一体で都市の再生に取り組んでいる渦中にあります。一方で、時間が止まったかのような

昔ながらのまち並みや昭和の香りがするディープな場所が残っているのもまちの魅力です。

このように、磯崎建築に触れながら、まちとしても魅力があり、皆さんに楽しんでもらえる場所という観点から、別府市で開催する運びとなりました。

川津 ●全国の人たちから見ると、「別府」の名前は絶対知っていても、行ったことがある人は少ないのではないのでしょうか。こういう機会だったら来てくれるかもしれないし、興味を持ってくださるのではないかという思いがありました。別府に行って感じることは、昔の古びて寂れた温泉街だけではなく、それを逆手にとりながらアートマンスを開催するなど、アートな都市になっています。アルゲリッチ音楽祭が開催されるような器もあり、非常に懐かしく感じます。昼夜問わず、すごく楽しめる場所ではないでしょうか。



佐々木 ●別府は湯布院や湯平温泉、豊後高田など、近くに温泉・名所も多いので日頃の疲れをいやしていただきたいですね。別府、九州に1週間ぐらいいてほしいという思いもあります。

松山 ●建築家は職業柄、建築に没頭するあまり家族と過ごす時間が少なくなりがちですから、ぜひご家族と一緒に別府のまち並みと温泉を堪能していただければと思います。家族旅行としても楽しいイベントになってほしい。そんな別府大会になれば企画している私たちも嬉しいです。

### テーマ「建築の未来」

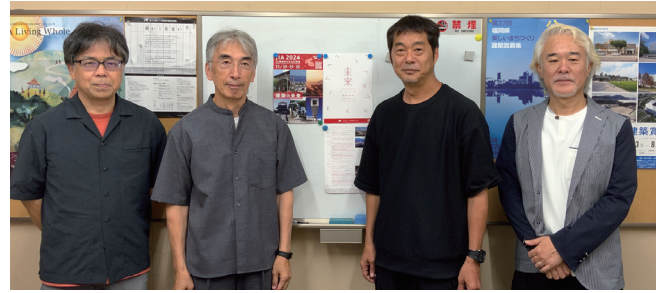
——「建築の未来」というテーマを掲げた背景と、このテーマを通してどのようなことを伝えたいと考えていますか？

松山 ●「建築の未来」というテーマは、具体性が見えにくく大きすぎるのではないかと意見もありましたが、私たち建築家を取り巻く環境がめまぐるしく変化している今、まさに転換期とも言えるでしょう。その転換期においてストレートな言葉で全国のJIA仲間と未来について語り合う場にしたいという想いがこのテーマに込められています。

今年には能登半島地震から始まり、直近では南海トラフ地震の予兆が囁かれました。佐藤会長が能登の被災地を視察された際に建築の免震化の重要性を痛感し、建築界全体で防災に本気で取り組まなければならないと提言しています。2016年の熊本地震での災害支援活動を経験した私たちが伝えるべきことも含めて、今一度議論をしなければならない課題です。

コロナ以降、急激に価格が高騰しコストとの闘いは今なお続いています。さらに2024年建設労働問題も重なり、今後もその闘いは続いていくでしょう。こうした不透明な状況下では一括発注が安心であるという流れが加速し、設計と施工の分離発





右から、佐々木寿久九州支部長、松山将勝大会委員長、川津悠嗣大会実行委員長、有吉兼次実行委員（広報担当）

注という信頼が危ぶまれ、建築家の職能を発揮する環境が失われていくのではないかと危機感さえ覚えます。

また、カーボンニュートラル2050に向けて省エネ法も含めた取り組みや、BIM化の促進など、設計環境も大きく変わろうとしています。

さらに、JIAも含めた設計関連団体は会員減少問題を抱えたまま、どのように未来を切り開いていくかということもみんな乗り越えていかなくてはならない大きな課題です。取り組まなければならない課題は山積していますが、JIAの仲間と共に乗り越えていく「建築の未来」を、さまざまな視点で語り合いたいと考えています。

**川津**●今回、大会委員長から「建築の未来」というテーマをいただいたときに、正直言うとすごく大きくてストレートなテーマだと感じました。けれどもしばらくすると、これは九州人の気質的なストレートさだなと思ってきました。何かに引っかけるとか、何か思わせぶりにするのではなくて、この「建築の未来」という大きなテーマに対してちゃんとしっかり向き合おうという意気込みがすごく伝わって、いいなと思い始めました。

「建築の未来」とは何だと言ったときに、やはり自分自身に引き込んでそこから未来を見据えていく必要があります。そういう意味でこれからの時代に向かう自分自身がどうなるのだろうかを含めて考えると、この大きなテーマはすごくいいと今はそう思っています。

### 九州支部ならではのさまざまな企画

——メインシンポジウム以外にも、どのような企画が予定されていますか？参加者の方々に楽しんでいただけるような企画、魅力的なエクスカージョンやレセプション、JIA マンスがあれば教えてください。

**佐々木**●メインシンポジウムでは基調講演でOMAの重松象平さんに「Open-ended Architecture」というテーマでお話しいただき、その後末廣香織氏をモデレーターに迎えて重松象平氏・末光弘和氏・石山友美氏のパネリストが登壇して「建築の未来」についてのクロストークを展開します。会場はビーコンプラザで一番広いコンベンションホールを予定しています。

基調講演を重松さんをお願いしたのは、九州の地で生まれ育ち世界を舞台に活躍した磯崎さんが他界して、今、やはり九州の地で生まれ育ち、世界で活躍しているのは重松象平さんだということが一番大きな理由でした。重松さんは世界を見ながら何を捉えているのか、またアフターコロナ以降の建築の未来を提唱されている方です。世界を渡り歩いている建築家が見た建築の未来はどのようなものかを聞いて、議論していきたいと思

います。

——メインシンポジウム以外にも、どのような企画が予定されていますか？参加者の方々に楽しんでいただけるような企画、魅力的なエクスカージョンやレセプション、JIA マンスがあれば教えてください。

**松山**●大会のプログラムとしては、これまでの大会と大きな変化はありません。

その中でも初日11月28日に企画しているJR九州とタイアップした〈特急「A列車で行こう」

To 湯布院〉は、特別企画として準備しています。昨年の常滑大会ではまち歩きが非常に好評でしたので、別府大会でもできるだけ別府のまちを散策して地域文化に触れていただく時間を設けています。

裏メニューでは、2日間にわたり〈別府温泉ナイト〉を企画しています。初日は別府市内のライブハウスを貸し切り、昨年の常滑大会で雨天中止になったJIAバンドのリベンジをやります。2日目の夜も連続で集まって絆を深めよう！という企画をして、お酒好きの九州支部ならではの交流会を準備しています。

シンポジウム2の〈偉大な先輩建築家に学ぶ〉はJIA-KIT建築アーカイブスとの連携企画ですが、磯崎新さんにゆかりのある方々に登壇していただき、磯崎さんの人間像に迫ります。石山友美さんの〈だれも知らない建築のはなし〉では、映画上映とともに偉大なる建築家たちの真相を語っていただきます。

2日目は〈熊本から考える災害と未来〉や〈大分から考える木造と未来〉など、九州支部が独自で企画したシンポジウムを開催します。

そして、全国10支部の合同企画である〈注目の若手建築家による建築討論〉も昨年の常滑大会に続いて開催します。若い世代がどのような未来を見据えて活動しているのか。全国から有能な若き建築家たちが集結します。

エクスカージョンでは、大分や北九州の磯崎建築を巡るツアーや熊本を巡るツアーを準備していますので、最終日まで別府大会を堪能してほしいですね。

**川津**●今までの大会と違うところは、今回は基本的に九州支部が企画したものばかりだということです。本部や委員会、各支部が企画したりするものを大会マンスで開催して、大会期間の2日間は基本的に九州支部が考えた「建築の未来」を語る場を提供することが一番大きな違いかと思います。会場がバラバラになったりしないように、九州支部の中で1つのストーリーを作ってプログラムを構成したことも大きいです。

例えばシンポジウムでは「建築の未来Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」があり、「建築の未来Ⅰ」では「磯崎さんのことを語る会を作ろう」と考えました。〈偉大な先輩建築家に学ぶ〉が同じような趣旨の企画だったため一緒に開催することにしました。「建築の未来Ⅱ」は石山修武さんのお嬢さんの石山友美さんが2015年に作られた、「だれも知らない建築のはなし」という映画を上映します。ポストモダンの人たちを総括しながら、もともと磯崎事務所にいらした石山さんが別の切り口で捉えた映像だとうかがったため、ここで石山さんの映画を見ようではないかと話しているうちに石山さんにご登壇いただけることになりました。「建築の未来Ⅲ」はメインシンポジウムであり、これからの建築の未来をお話し



特急「A列車で行こう」

写真提供：JR九州

## ■「大会参加登録専用サイト」と「宿泊申込専用サイト」からお申し込みください！

大会期間中の大会参加登録、宿泊予約は、右記QRコードからの専用サイトにてスムーズに行えます。例年と異なり、**大会参加登録と宿泊予約は別々のお申し込み**となります。大会参加登録は**9月30日まで**。公式HPをご確認の上、大会参加登録、宿泊先、交通手段のご予約をお願いいたします。

大会登録料		13,000円
登録料は、正会員・専門会員・シニア会員・ジュニア会員・法人協力会員・個人協力会員一律13,000円です。同伴者は半額(6,500円)で、学生・一般は無料です。		
28日(木)	17:00～19:00	ウェルカムパーティー 8,000円
29日(金)	18:00～20:00	レセプションパーティー 15,000円
28日(木)	エクスカージョンS	特急「A列車で行こう」To 湯布院 13,000円
30日(土)	エクスカージョン1	磯崎新建築のいま 大分編 10,000円
30日(土)	エクスカージョン2	磯崎新建築のいま 北九州編 10,000円
30日(土)	エクスカージョン3	熊本震災遺構巡り+文化財修復塾ツアー 13,000円



■大会参加登録URL  
https://niccs.nishitetsutavel.jp/niccs/ja/app/JIA2024



■宿泊申し込み専用サイトURL  
https://niccs.nishitetsutavel.jp/niccs/ja/app/JIA2411

いただきます。そして「シンポジウム4」は九州の建築で、熊本地震や豪雨災害から九州、熊本の人たちがどのように立ち直っていったかを語るべきではないかと考えています。九州支部では地震の記録誌を制作中で、それとリンクさせながら組み立てるべきテーマではないか。そして林業県である大分で開催する意味を「シンポジウム5」を通して考えるというように、九州支部で考えた1つのストーリーの中で全体を構成しています。

JIA マンスも大会テーマを意識した企画にしてほしいと依頼しています。未来をどう捉えるかはそれぞれのスタンスで変わってきますが、「未来」というものをキーワードとしてみんなで考えていくことで、この2日間で濃密なものになるのではないかと感じています。

その後のエクスカージョンでは、磯崎さんを巡る大分の旅、北九州の旅、そして、災害の復興を感じさせる熊本の旅、それが繋がったテーマです。大分の旅は大分市内の中で完結しますが、北九州の旅は北九州で降りて帰れます。熊本の旅も大分市を出発して熊本城や熊本空港で解散でき、そこから足を伸ばして他の所にも行くことができます。ぜひ九州全体を楽しんでいただきたい。

### ぜひお越しください！

——最後にJIA会員の皆様へメッセージをお願いします。

**佐々木**●建築家大会が九州に決まったときに支部長に就任したことは非常にラッキーだと思っています。重圧もありますが、楽しみにしています。今まで建築家大会は勉強会に行って講演を受けるというイメージでしたが、今回は、討論会のようなイメージで大会期間中、いつ行っても何かが行われているスケジュール構成を、川津さんと佐々木信明さんに作っていただきました。いつどこから入っても建築家大会に参加できることが大きな特徴だと思います。いつでも参加していただけるようスケジュールを組んでいますので、別府、九州に皆さんにお越しただければありがたいです。本大会の準備が手探りだったため、沖縄支部・東海支部の実行委員の皆様よりご協力、ご助言をいただきました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

**松山**●JIA 建築家大会は、私にとっては同窓会的な感覚で毎年参加していて、普段会えない仲間と年に1回集える特別な場所です。ただ、普段から共に活動している支部仲間とここでも一

緒に行動していることが多いように思います。せっかく全国のJIA 仲間が集結するので、支部の垣根を越えて全国に仲間が増えていくのは、JIAの魅力の1つです。そうした交流のきっかけとなる場を別府大会では準備しています。特に2日間にわたる別府温泉ナイトにはぜひ参加していただき、JIAのつながりや絆を深めてほしいです。おもてなしが大好きな九州支部会員が盛り上げますので、夜までお付き合いください。宴会のお誘いばかりになっていますが(笑)。

**川津**●コンパクトな大会を目指して、九州支部のプログラムはできるだけコンパクトにして、会場は基本的に1か所で開催します。会場にお越しいただければ、それからストーリーをたどっていただけますから、できるだけ楽しんでいただきたいです。

28日のウェルカムパーティーは普段はなかなか立ち入ることのできないビーコンプラザ内の国際会議室で開催します。たまたまレセプションホールが改装中のため、国際会議室で開催でき



ウェルカムパーティー会場

ることになりました。また、29日のレセプションパーティーは、「大分の迎賓館」をコンセプトにつくられた杉乃井ホテルのスギノイホールで開催します。ビーコンプラザより少し距離がありますが、『JIA MAGAZINE』426号(9月号)に掲載したとおり、「温泉宿・ホテル総選挙2021」のビューフェ部門で第1位を受賞した美味しい料理だと謳っていますので、我々も楽しみにしています。皆さん来ていただければ、絶対満足していただけるような、温泉・食事・そしておもてなし。大満足の大会になること間違いなしと確信をもっています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

### JIA 建築家大会 2024 別府

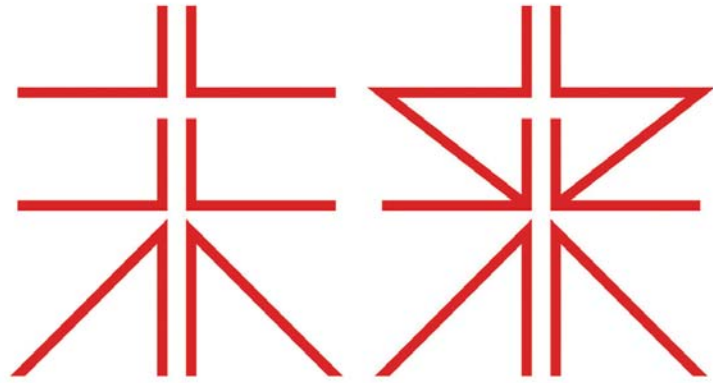
主催	公益社団法人 日本建築家協会
お問い合わせ	公益社団法人 日本建築家協会九州支部 福岡市中央区薬院1-4-8 あづまビル2F TEL. 092-761-5267 beppu2024@jia-9.org

大会公式ホームページ  
https://www.beppu2024.jia-9.org/



大会公式HP





The Japan Institute of Architects

2024

「建築の未来」

JIA 建築家大会 2024 別府

11/28 thu・29 fri・30 sat

「大会参加登録専用サイト」と「宿泊申込専用サイト」を開設しました！

大会期間中の大会参加登録、宿泊予約は、右記QRコードからの専用サイトにてスムーズに行えます。例年と異なり、大会参加登録と宿泊予約は別々のお申し込みとなります。大会参加登録期間は8月20日から9月30日。公式HPをご確認の上、お早めの大会参加登録、宿泊先、交通手段のご予約をお願いいたします。



大会参加登録URL https://niccs.nishitetsutavel.jp/niccs/ja/app/JIA2024



宿泊申し込み専用サイトURL https://niccs.nishitetsutavel.jp/niccs/ja/app/JIA2411

Table with 4 columns: Date, Time, Event Name, Price. Lists various activities like welcome parties, excursions, and symposiums with their respective costs.

大会スケジュールに更新がありましたら、大会公式ホームページ、または「JIA MAGAZINE」で随時お知らせしますので、ご確認ください。

大会スケジュール

Main event schedule table with columns for dates (11月28日, 11月29日, 11月30日) and time slots. Details various sessions, symposiums, and social events.

シンポジウム

11月28日、29日に「建築の未来」をテーマに、多彩なシンポジウム、イベントを展開します。以下のプログラムはいずれも一般参加可能です。

11月28日(木)

●シンポジウム1 JIA 全国10支部合同企画「注目の若手建築家による建築討論」 13:30～16:30

モデレーターの木村吉成氏、塩塚隆生氏、畑友洋氏の3名と、10支部から選出された若手建築家12名による建築討論。大会マンスでオンラインイベントとして全3回(10月3日(木)・17日(木)・31日(木))、本大会では対面で開催いたします。JIA九州建築新人賞を受賞された若手建築家(現地審査対象者10名)も加えて、建築討論を行います。司会進行は東海支部長の浅井裕雄氏。



昨年のJIA建築家大会2023常滑のJIA全国10支部合同企画「注目の若手建築家による建築討論」の様子

●シンポジウム2 建築の未来I 「偉大な先輩建築家に学ぶIX 磯崎新とは」 13:00～15:20

2022年に他界された建築家磯崎新氏について、氏がどのように地域、文化を考え、その作品を作り上げていったかということ、氏の門下生、関係者、研究者等に語っていただき、偉大な建築家の教を学びます。また、11月30日(日)開催のエクスカージョンでは磯崎新氏の建築作品見学ツアーを実施します。



菅章 西岡弘 成瀬輝一 仙田満

(会場)

アートプラザ(旧大分県立大分図書館) 研修室

(登壇予定者)

菅章氏(前大分市美術館館長) 西岡弘氏(元磯崎新アトリエ所員) 成瀬輝一氏(学校法人岩田学園理事長)

総括: 仙田満氏(NPO建築文化継承機構理事)



会場のアートプラザ

●シンポジウム3 建築の未来II 「だれも知らない建築のはなし」 14:30～16:30

建築はそれが根ざす社会と切り離して考えることは不可能なものです。石山友美氏(映画監督/秋田公立美術大学准教授)の監督作品「だれも知らない建築のはなし」(2015年、ベネチアビエンナーレ出品作品)では、高度に資本主義化された社会で、何をどう生み出すのかという建築家たちの夢と挫折の歴史が描かれ、バブル経済が世界に名だたるスター建築家を生んだ事実や、映画公開当初問題となったオリンピックスタジアム建設問題に象徴される公共建築のあるべき姿が問われました。



石山友美 映画監督/秋田公立美術大学准教授

この映画を上映し、石山氏に映画制作時のエピソードや、出演した建築家たちについて、お話ししていただきます。公開から10年経った現在、当時映画に出演した建築家たちが憂えた建築の未来を再考します。

「だれも知らない建築のはなし」 映画ポスター

●あかりコンペ 13:30～16:30

今回の開催で15回目を迎える「建築家のあかりコンペ2024」。ビーコンプラザ会場にコンペ応募作品を展示し、二次審査を開催します。

【審査委員長】

赤松佳珠子氏: 建築家(法政大学デザイン工学部建築学科教授/CAT)

Photo: ToLoLo studio

【審査員】

原田麻魚氏: 建築家(MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO)



赤松佳珠子



原田麻魚



須部恭浩



東海林弘靖



村西貴洋

須部恭浩氏: 建築家(三菱地所設計)

東海林弘靖氏: ライティングデザイナー(LIGHTDESIGN INC.)

村西貴洋氏: ライティングデザイナー(大光電機)

●別府温泉街探索 まちあるき・まちづくりワークショップ 11:30～13:00

「まち」の主役である住民・市民と建築家がまちづくりを協働して進めていく手法・技術にファシリテーションがあります。少子高齢化、空き家・空き地、防災、地域活性化など、さまざまな課題がある現在のまちにおいて、その現状把握と解決への手立てはますます重要になっています。本企画提案は住民・市民に寄り添うプロフェッショナル集団であるJIAらしさを表した企画です。別府の街をフィールドに建築家、行政・住民、大分県内学生など、多様な人々がワークショップとしてまちあるきを実施。別府の「だから」と「あら」を協働して考え、提案に繋がります。本企画は別府を舞台とした市民協働への第一歩としての取り組みであり、住民・市民と共に協働するファシリテーションの啓蒙、教育、共有への取り組みとして実施します。



11月29日(金)

●シンポジウム4 「熊本から考える災害と未来」 10:00～12:00

自然災害は容赦なく訪れ、日常を非日常に変えていく。私たち建築家は、災害を前にしてただ立ち尽くしているだけ、言葉を発するだけでは職能を発揮できません。学びやアイデアも必要ですが、最も必要なのは強い意志に基づく行動ではないでしょうか。熊本は2016年4月の震災と2020年7月の豪雨災害を立て続けに経験しました。その経験から「何をしてきたのか」、そして未来に向けて「何ができるのか」を、災害復興に携わってきたパネラー、そして会場の皆さんと共に考える場とします。興味深い話や、未来へのヒントが展開されると思っていますので、災害経験のある方はもとより、未被災経験の方もぜひご参加ください。  
(登壇予定者)  
末廣香織氏(九州大学教授 人間環境学研究院 都市・建築学部門 計画環境系) + 大学生  
柴田真秀氏(JIA熊本地域会・保存再生会議委員)  
モデレーター：原田展幸(JIA熊本地域会・JIA災害対策会議前委員)



●シンポジウム5 「大分から考える木造と未来」 9:30～12:00

全国有数の林産県である大分県は、豊富で充実した森林資源を積極的に活用し、林業・木材産業の活性化と健全な森林の維持増進を図ることを目的に、地域の木材を使用した住宅・非住宅の木造建築を推進するとともに、それらを設計する建築家の育成にも取り組んでいます。本シンポジウムでは、建築の木造・木質化の現在の立ち位置確認を導入とし、環境・材料・構造等の各視点から多角的に木造の未来について議論します。  
(登壇予定者)  
五十田博氏(京都大学教授)、青木謙治氏(東京大学教授)、岩前 篤氏(近畿大学教授)  
司会等：三浦逸朗(JIA大分地域会)、他



●国際シンポジウム 10:00～12:00

AIA(アメリカ建築家協会)、ASA(タイ王立建築家協会)、KIA(韓国建築家協会)、KIRA(大韓建築士協会)などJIAの海外提携協会が集まり、今の建築家を取り巻くさまざまな問題を議論します。

●シンポジウム6 建築の未来Ⅲ メインシンポジウム 14:00～17:00

基調講演者に重松象平氏(建築家/OMAパートナーおよびニューヨーク事務所代表/九州大学大学院人間環境学研究院教授)による「建築の未来」(サブテーマ未定)と題した講演と、末廣香織氏(九州大学教授)をモデレーターに迎えて重松象平氏、末光弘和氏(九州大学准教授)、石山友美氏(秋田公立美術大学准教授)のパネリストが登壇し、「建築の未来」についてのクロストークを展開します。

■JIA建築家大会2024別府JIAマンス

建築家大会開催に先立ち、2024年10月を大会マンスとし(毎週木曜、金曜/18:00から2時間・計9回開催)、Webにて大会テーマ「建築の未来」に沿った議論を展開します。JIAマンスは大会公式ホームページよりお申し込みください。

<p>10月 3日(木) 10月 17日(木) 10月 31日(木)</p> <p>JIA全国10支部合同企画 「注目の若手建築家による建築討論」</p> <p>モデレーターの木村吉成氏、塩塚隆生氏、畑友洋氏の3名と、10支部から選出された若手建築家12名による建築討論。 大会マンスでオンラインイベントとして全3回、本大会(11月28日(木))では対面で、シンポジウム1として開催。 JIA九州建築新人賞を受賞された若手建築家(現地審査対象者10名)も加えて、建築討論を行う。司会進行は、東海支部長の浅井裕雄氏。</p>	<p>10月4日(金)</p> <p>職能・資格制度委員会+本部建築家資格制度実務委員会 「建築家職能の未来」</p> <p>JAA/JIAが永らく追求してきた資格制度の初心に立ち返り、職能団体の果たすべき役割にも議論は及ぶだろう。</p>	<p>10月10日(木)</p> <p>業務委員会ケンバイWG 「事故事例から学ぶ未来へのチャレンジ」</p> <p>ケンバイの特徴、他団体との違い、他団体からの移行等について、事故事例を踏まえてケンバイのメリットをわかりやすく解説。</p>	<p>10月11日(金)</p> <p>JIAまちづくり会議 シンポジウム 「建築&amp;まちづくりの未来を考える」</p> <p>建築およびまちづくりを考えていくための土俵となる社会や環境等を多面的な方向から見つめ直し、問題を共有、ディスカッションを行って解決を模索する。</p>
<p>10月18日(金)</p> <p>JIA災害対策会議 JIA環境会議 JIA保存再生会議 「能登半島地震への対応に関するJIA全国会議横断型シンポジウム」</p> <p>パネルディスカッション等。</p>	<p>10月24日(木)</p> <p>JIA住宅等連携会議 「建築家、働き方をデザインする」</p> <p>「建築家の活動の多様性」の事例紹介から「新しい建築家像」を知り、「働き方開拓」を考える。</p>	<p>10月25日(金)</p> <p>新資格制度を推進する特別委員会 「これからの資格制度を考える」</p> <p>パネルディスカッション等。</p>	

■ウェルカムパーティー

日時：11月28日(木) 17:00～19:00  
場所：別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」3F 国際会議室

会場は磯崎新氏設計で1995年竣工、BCS受賞の建物です。ウェルカムパーティー会場の3F国際会議室は、吹き抜けの高い天井から降り注ぐ自然光と、木の温もり溢れる内装が調和する素敵な空間です。会場外にて16:30に受付開始し、17:00のウェルカムパーティー開催まで九州各地の地酒を嗜む場所をご用意していますので、奮ってご参加ください。  
開演後は、しばしの懇親の後に協力会の主催によるマジックショーを予定しています。  
また料理は、大分県産の名物料理を中心としたオードブルビュッフェをご用意しております。特に昭和20～30年代に大分から始まったとされる「とり天」をご賞味ください。  
ウェルカムパーティー後は、別府の地域色ある街と温泉をお楽しみください。



ウェルカムパーティー会場



オードブルビュッフェ(とり天)

■レセプションパーティー

日時：11月29日(金) 18:00～20:00  
場所：別府温泉 杉乃井ホテル スギノイホール ひかり

レセプションパーティーは、「大分の迎賓館」をコンセプトにつくられた杉乃井ホテルのスギノイホールで開催します。会場では、大分別府の山々の景色を望む開放的な大型オープンテラスが併設されており、別府の景色を楽しむことができます。  
また、杉乃井ホテル名物の食事は、「温泉宿・ホテル総選挙2021」のビュッフェ部門で第1位を受賞した、大分県産の食材をふんだんに使用したおいしい料理をお楽しみいただけます。  
宴会の途中では、地元団体による子供神楽を披露していただきます。地元地酒と料理を味わいながら、神事の演舞を堪能して、われわれ九州支部会員と楽しいひと時を過ごしましょう！  
たくさんのご参加、お待ちしております。



レセプションパーティー会場



大分県産の食材

■エクスカーショ

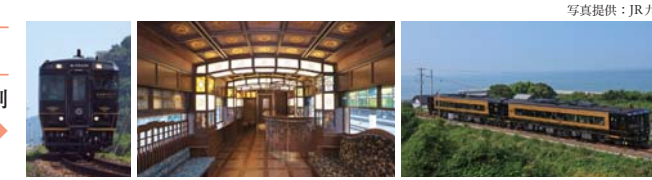
11月28日(木)

エクスカーショ

●特急「A列車で行こう」To 湯布院【予定】

JR九州の特別貸切列車で行く日帰り湯布院散策ツアー

11:00頃 別府駅出発 → 昼食(車内) → 12:20頃 JR由布院駅到着 → 湯布院自由散策(2時間) → 15:00頃 JR由布院駅出発 → 16:15頃 別府駅 → 17:00頃 ビーコンプラザ到着



写真提供：JR九州

特急「A列車で行こう」

11月30日(土)

エクスカーショ

●磯崎新建築のいま 大分編

大分市内の磯崎建築を見学する貸切バスツアー

9:00 大分駅出発 → 9:20 大分県立図書館見学 → 11:00 アートプラザ見学 → 13:00 大分市内にて昼食 → 14:30 岩田学園見学 → 17:30 大分駅にて解散



岩田学園

エクスカーショ

●熊本震災遺構巡り+文化財修復塾ツアー

阿蘇神社、震災ミュージアム、熊本城等を見学する貸切バスツアー

8:00 大分駅出発 → 10:00 阿蘇神社見学 → 11:15 京都大学火山研究センター見学 → 12:30 熊本地震震災ミュージアム見学 → 昼食 → 15:15 熊本城見学 → 16:00 熊本城にて1次解散 → 17:00 熊本空港にて2次解散 → 19:00 大分駅にて3次解散



写真提供：熊本県観光連盟

阿蘇神社

エクスカーショ

●磯崎新建築のいま 北九州編

北九州市内の磯崎建築を見学する貸切バスツアー

8:30 大分駅出発 → 11:00 北九州市立美術館見学 → 12:30 小倉城周辺・旦過市場・魚町銀天街にて昼食 → 13:50 北九州市立中央図書館見学 → 15:30 西日本総合展示場・北九州国際会議場見学 → 17:00 小倉駅にて1次解散 → 19:30 大分駅にて2次解散



北九州市立美術館

JIA建築家大会2024別府

主催	公益社団法人 日本建築家協会
お問い合わせ	公益社団法人 日本建築家協会九州支部 福岡市中央区薬院1-4-8 あづまビル2F TEL. 092-761-5267 beppu2024@jia-9.org

大会公式ホームページ  
<https://www.beppu2024.jia-9.org/>



大会公式HP